

社団法人日本新体操連盟

平成 22 年度第 2 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 22 年度第 2 回理事会
2. 日時： 平成 23 年 3 月 16 日（水）10 時 00 分～10 時 50 分
3. 場所： 東京都渋谷区代々木 2-2-1
「小田急ホテルセンチュリーサザンタワー・21F オースティンルーム」
4. 構成員現在数： 17 名
5. 出席役員： 渡辺 守成（常務理事）池田真喜子（理事）岡 久留実（理事）
崇島 慎一（理事）
二木 英徳（会長）朝倉 正昭（副会長）石崎 朔子（副会長）
福本 隆（副会長）荒井 隆（専務理事）関田史保子（常務理事）
秋山エリカ（理事）上村 郁代（理事）谷口 裕代（理事）
谷原 誠（理事）橋本 千波（理事）藤島八重子（理事）
岩本 晃（監事）田中 元（監事）
以上 16 名（うち委任状出席 12 名）
その他監事 2 名（うち委任状出席 2 名）
6. 欠席役員： 山崎 浩子（理事）

以上 1 名

< 出欠に関する注記 >

3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、交通機関の運行停止や停電により、役員
の直前の欠席が多数あった。その為、出席者数が少ない中での開催となった。

7. 議案：

決議事項

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）
第 2 号議案 平成 23 年度収支予算について（定款第 29, 38 条関連事項）
第 3 号議案 平成 23・24 年度役員改選について（定款第 4 章関連事項）
第 4 号議案 その他

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

今回 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋地震により交通機関の運行停止等のため、二
木英徳会長が当日来場する事ができず、委任状出席する事となった。代わりに議長を渡
辺常務理事が務め、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を岡久留実理事と崇島慎一理事にする事を議場に
諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 25 条の定めにより、理事会出席者数委任状含めて 16 名であることが崇島理事より告
げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

第 1 号議案 「平成 23 年度事業計画」について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 23 年度年間事業計画について

23 年度は 22 年度とほぼ同様に事業を計画している。

クラブ選手権	8 月 27～29 日	東京体育館
団体選手権	9 月 18～19 日	幕張メッセ
イオンカップ	10 月 28～30 日	東京体育館
チャイルド選手権	2 月 24～26 日	東京体育館

セミナー 審判 3 回、国内 10 回、国外 2 回
を予定している。

2. 各種大会種目について

種目が 2 年ごとのローテーションに各大会の種目に変更となるので、確認をお願いしたい。

クラブ選手権	シニア	ロープ、フープ、ボール、クラブ
	ジュニア	フープ、ボール、クラブ、リボン
団体選手権	シニア	リボン 3 フープ 2
	ジュニア	ボール 5
イオンカップ	シニア	ロープ、フープ、ボール、クラブ
	ジュニア	フープ、ボール、クラブ、リボン

質疑・報告

岡理事より、種目について下記の意見があった。

国際体操連盟・技術委員会において、シニアではロープが廃止されることが決まった。それに従い「クラブ選手権」「イオンカップ」のシニアの種目はフープ、ボール、クラブ、リボンとなる。

また、「団体選手権」のジュニアの種目は、国内がロープ 5 なので、ロープ 5 に変更する事を提案する。

以上の意見・提案に従い、

クラブ選手権	シニア	フープ、ボール、クラブ、リボン
団体選手権	ジュニア	ロープ 5
イオンカップ	シニア	フープ、ボール、クラブ、リボン

とする事になった。

岡理事より、チャイルド選手権・ルールについて下記の意見があった。

チャイルド選手権のルールで、第 13 回大会が多少の混乱を見た。ルールの見直しをしたい。

以上の意見に従い、23 年度初めに見直し会議を設け、理事会を通した後、加盟クラブに配布する事が決まった。

以上の質疑応答の後、「クラブ選手権」「団体選手権」「イオンカップ」の種目を変更することで、第 1 号議案「平成 23 年度事業計画」を可決した。

第 2 号議案「平成 23 年度収支予算」について（定款第 29, 38 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 事業収入

「日本新体操祭」について

22 年度では収入 490 万円で予算を計上していたが、実績では 100 万円ほど予算より多くの収入があった。実績を反映し、23 年度予算を収入 590 万円と計上した。

「SSFスポーツエイド」について

SSFスポーツエイドでは助成事業開始20周年を迎え、事業の見直しが行われ、助成事業を終了する事の連絡があった。よって、23年度は助成申請が行えないため、22年度100万円を計上していたが、23年度は予算計上していない。

2. 事業活動収入合計

22年度と比べ小額の変更が出ている事業があるが、実績を反映して金額を直してある。以上により、平成23年度事業活動収入合計は2億3368万円を計上した。

3. 事業費支出

事業支出は実績を反映しており、前回予算時とほぼ同額である。事業費支出計は2億262万円としている。

4. 管理費支出

管理費は色々な方向から細かく見直し、前年比100万円減の3410万円を計上した。

5. 予算合計

事業費支出と管理費を合わせ事業活動支出計は2億3672万円。事業活動収支差額は-304万円。投資活動、財務活動は行っていないため0円計上。予備費100万円を計上し、当期収支差額は-404万円。前期繰越収支差額を加え、次期繰越収支差額1538万5374円を平成23年度収支予算とした。

質疑・報告

議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成23年度収支予算」については原案通り可決された。

第3号議案「平成23・24年度役員改選」について（定款第4章関連事項）

渡辺常務理事が説明者を務め、渡辺常務理事は下記内容の説明を行った。

平成22年3月末をもって役員の改選を迎える。

本連盟は、「公益法人制度改革」に伴い新法人へ移行の準備を進めている。その移行に伴い定款、役員等変更が生じてくるため、移行に備え、今回の改選では第4期理事の継続を基本線に提案したい。

第5期役員は第4期より継続し、19名のメンバーにて提案差し上げる。

二木 英徳	イオン株式会社・名誉相談役
朝倉 正昭	国土舘大学・教授
石崎 朔子	日本女子体育大学・教授
福本 隆	日本テレビ鳩友会・副理事長
荒井 隆	元日立製作所健康保険組合連合本部・顧問
関田 史保子	東京女子体育大学・教授
渡辺 守成	イオン株式会社イオン新体操クラブ・代表
秋山 エリカ	東京女子体育大学・准教授
池田 真喜子	社団法人日本新体操連盟・事務総長
上村 郁代	折尾愛真学園高校・教諭
岡 久留実	イオン株式会社イオン新体操クラブ・コーチ
崇島 慎一	共同通信社・運動部記者
谷口 裕代	コスモスR G・代表
谷原 誠	みらい総合法律事務所・弁護士
橋本 千波	PEGASUSU・代表

藤島 八重子 (有)エフ・パル代表取締役
山崎 浩子 スポーツライター
田中 元 田中税理士事務所・所長
岩本 晃 株式会社博報堂アイ・スタジオ・代表取締役社長

質疑・報告

議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「平成23・24年度役員改選」については原案通り可決された。

第4号議案 その他

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないことを確認し、理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成23年3月16日

社団法人 日本新体操連盟 平成22年度第2回理事会

議 長 渡 辺 守 成

議事録署名人 岡 久 留 実

同 崇 島 慎 一